

愛知大学入学試験 出題意図

試験日	2026年2月2日
入試種別	一般入試
科目	歴史総合，世界史探究

大問〔Ⅰ〕

近代以前の中国の歴史に関する教科書レベルの基本事項の理解度を測る設問です。とくに隋代以降明代までの経済や政治などについて、特定の王朝の事柄と複数の王朝にまたがる事項を問うことによって、中国史の大きな流れとそこにみられる変化の特徴を正確に理解できているかどうかのポイントとなっています。

大問〔Ⅱ〕

現在、アメリカの関税政策が話題となっていることから、この設問では関税に関わる歴史的な出来事を取り上げています。関税とは、国家間の貿易不均衡への対策の一つです。異なる時代や地域の出来事について問うことで、貿易不均衡を背景として地域や国家間の結束の枠組みが変化したり、戦争に至ったりする過程が理解できているかどうかを問う問題です。

大問〔Ⅲ〕

米ソ冷戦後に進んだグローバル化の進展に関して、教科書内に登場する基礎的知識を網羅的に問う形で出題しています。その中で、ヨーロッパおよびアジアにおける政治・経済の歴史的展開に焦点を当て、グローバル化の進展が各国・地域にもたらした影響を理解できているかどうかを確認することを意図しています。

本件に関するご質問・お問い合わせにつきましては、個別での回答はいたしかねます。